

読売新聞 読書委員が選ぶ 「2012年の3冊」に選ばれました!



E・スウェーデンボルグ 著 宮崎伸治 訳

天界と地獄

定価 1260円 (税込)



辛酸 なめ子
漫画家、
コラムニスト

- ① シャーン・エヴァンズ 著『図説メイドと執事の文化誌』 (原書房、3800円＝村上リコ訳)
- ② E・スウェーデンボルグ 著『天界と地獄』 (ミヤオビパブリッシング、1200円＝宮崎伸治訳)
- ③ フィリップ・ローソン 著『タントラ インドのエクスタシー礼賛』 (平凡社、1900円＝松山俊太郎訳)

仕事の合間に異世界にトリップできた3冊は、まず19～20世紀の英国貴族の大邸宅の使用人の日常を解説した①。「銃猟パーティー」「腎臓のパイ」など聞き慣れない単語が並びます。つい貴族より使用人に感情移入。

②は18世紀の大科学者で霊能者が天界を訪ねた記録で、天使との対話や戒めの言葉が収録。皆美しく若返る天界に早く行きたくなります。③はマントラや神々の絵を見ているだけで現実逃避、忘我の境地に至れました。

〔読売新聞 2012年12月23日掲載〕 MPミヤオビパブリッシング 発売元 宮帯出版社